刊にあたって

清京から

净土真宗本願寺派 清涼山 善教 寺

〒663-8184 西宮市鳴尾町4-10-7 0798(48)2224

平成23年 4月1日発行

ご門徒の皆様方のお支えをいただき、 地域の人々と共に歩んで参りました。 の道場として、四○○年以上の長い間、 て十四代目にあたります。 浄土真宗・本願寺派の寺院です。 九二)、念秀法師によって開基された 弥陀如来の本願の救いを聴聞する聞法 住職・ 清涼山 釋秀顯は、 善教寺は、 念秀法師より数え 文禄元年 善教寺は阿 <u>二</u> 五 現在

昨今、先人の方々が大切にしてこられた「有難う」「勿体ない」「お陰さま」なってきました。戦後、私たちの生活は豊かになりましたが、「いのち」に対する眼差しや、神仏に対する敬いの心という、私たちの国に長く培われてきた豊かな心を失くしてきた様に思えてなりません。

のお寺は古くから聞法の道場といわれ問を受けたことがあります。浄土真宗ろですか?」。以前、ある方からご質「お寺って一体、何をしているとこ

0)

風

景」をご紹

な「善教寺の日

できました。いいかえれば、お寺はこてきました。いいかえれば、お寺はこの私自身が仏法(仏様のみ教え)に耳の私自身が仏法(仏様のみ教え)に耳のがはない」「お陰さま」の心が仏教のがないよって育まれてきたものといわれます様に、仏法とは「感謝」と「反省」の心の大切さを私自身に教えてくださるものに他なりま

ح 仏 典 法 が H 有 人 0) 善教 会の皆様による 常 の寺報ではその 結ばれています。 々、 、 教コーラスなど、 勉強会や仏 要をは 例 0) 様々な仏縁 、寺で 法座 皆 じ 様 や各に は め、 方と 教婦 毎 聖 種 月

> 取っていただければ幸いです。 発行を予定し、皆様のお手元にお届けさせていただきたいと思っています。 ではていただられいと思っています。 をせていただく為に、今後、年二回の

副住職 釋智 顕

ました聖人のご真筆より依用させていただき涼山」よりつけました。また題字は親鸞寺報名の「清涼」は善教寺の山号「清



せん。

涅ね 撃はん 会社 · · · · · · · · · · · · · ·



お迎えし、 を聞かせていただ られたお釈迦さま をいただきました 浄圓師をご講師に く法要です。天岸 をお偲びし、 にお亡くなりにな お取次 仏法

涅槃会は2月15 H

宗しゅう 祖そ 降さ 純なたん 会社

花はな

ま

つ

ŋ

••••• 4月3日

日

• • • • • • • 5 月 22 日

ご講師の福田正朗師

れになられた宗祖・親鸞聖 降誕会は5月21日にお生ま 人のご誕生をお祝いする法





ました ご法話を聞かせていただき ご講師の若林眞人師より、

春ん

季き

彼の

岸がん

会社

13

日

ご講師の藤榮行信師

よりお取次をいただ

ご一緒に、仏さまのお話を

たくさんのお参りの方々と

聞かせていただきました

きました



7 **月** 22 日

月げつ

例れい

法は

座ざ

した 取次をいただきま 師をお迎えし、 ご講師に宏林晃信 お



をお祝いする法要です にお生まれになられた お釈迦さまの、ご誕生 花まつりは、 4 月 8 日





お暑いなか、初日(2座)の法要には 200名をこえるたくさんの方々にお参 りをいただきました

お盆法要 かみぎえ (歓喜会) 8月7~8日 せていただきましたにお迎えし、ご法話を聞か

住職よりお参りの

2日目(1座)もお暑いなか、150名を こえるたくさんのお参りをいただき ました







婦人会のみなさんにお手伝いを いただきました



2日目は谷川弘顕師をご講師2日目は谷川弘顕師をご講師



秋季 彼の 岸がん 会社 ••••9月

门 日

ご講師に貴島

した をいただきま えし、お取次 信行師をお迎

お参りのみなさんとご一緒に『阿弥陀経』のお勤め



下藤紋 裁置 工事

非、ご覧ください

善教寺にお越しの際は、 紋様となりました。 とにより、以後、本願寺の ります下藤を持参されたこ 嫁に際し、九条家の紋であ 如上人の室、籌子裏方の入 の紋が設置されました。 「下藤」は本願寺第22代・鏡 10月29日善教寺会館に下藤 是

西宮市仏教会・募金活動

は、 募金15万7237円 みなさんからいただいた り、近隣を托鉢しました。 派をこえて善教寺に集ま たくさんの僧侶の方が宗 金活動を行いました。 合い運動の一環として募 西宮市仏教会が歳末助け 西宮市の「青い

た

福祉基金に寄付されまし

ご苦労を偲び、 鸞聖人のご命日 をこえるたくさんのお参りをいただきま 寺で最も大切な法要です。 教えを聞かせていただく、 ただきますと共に、 恩講は浄土真宗をお開きくださった親 日 そのご恩に気づかせての法要です。親鸞聖人 私自身がお念仏 連升土 土真宗 1 人の 0 0 0) 名 お み 11

月 **31** H 11 月 1 H



報う

思がん

講う



梯 實圓和上によるご法話(初日)



中西智海和上によるご法話(2日目)





「キョウコ エ ユウコ」のお二人 によるみ堂演奏



ご門徒の田所千代子さん(左から2人 目)には長年、報恩講でお供えするお 花を活けていただいています



ぼくたちも上手にまんま んちゃんあんできたよ



報恩講の準備のお手伝いをしてい ただいたみなさん



若院による『御伝鈔』拝読



日より営まれます

兵庫教区・

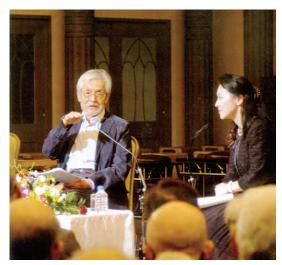
本願寺神戸別院

9月30日から10月8日にかけ 法要が営まれました。平成24 親鸞聖人七五〇回大遠忌 本願寺神戸別院で

法要がいよいよ今年の4月9 を終えた御影堂におきまし 本願寺におきましてもご修復 の七五〇回忌にあたります。 親鸞聖人七五〇回大遠忌 親鸞聖人

年1月16日は宗祖・

溢れんばかりのご参拝(3階の本堂)



記念講演では三國連太郎氏をお招きして、 親鸞聖人への想いを語っていただきました

も発刊されています

ご親教を述べられるご門主さま



9月30日は即如ご門主さまご親修のも 法要が営まれました。副住職も奏楽員とし て出勤させていただきました(手前横列の 左から4人目)



出版社より発刊されました

遷り変わる世に、変わらない真実を

大谷光真 *

生きるとは

光といのち

凡社より発刊されました

10

月 5

5

月8

日

9

月

30

日

5

10

月3日

その他、 文藝春秋より 愚 の

の上田紀行氏との対談集『今、 ここに生きる仏教』が11月に平 大谷光真ご門主と文化人類学者

本 願 ユ

本願寺第24代門主・

大谷光

真

こ門主の法話集 『光といのち』・ 。生きるとは』が12月に本願寺

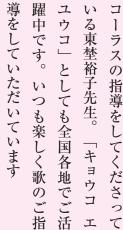
是非、ご一読ください



「教コーラス~善教寺パドマ合唱団~

より。 回 軽にお寺へご連絡ください。もちろ 習をしています。仏教讃歌は歌詞も 現在20名ほどのみなさんと毎月二 メロディーもとても素晴らしいです ん男性の方も大歓迎です 木曜日の14時からコーラスの練 興味のある方はいつでもお気











聖い 典社 勉べん 強き 会かい

•••每月6日14時~

にお越しください ただいています。どうぞお気軽 みなさんと一緒に勉強させてい 副住職が 「正信偈」 のお言葉を







報は 思おん 典 勉 強

ご講師に西脇昌史師をお迎え お取次をいただきました





• • • • • • •

11

月6

H

善教寺 てご協力いただいています んには善教寺仏教婦人会の会長とし ている東埜ご夫妻。ご主人の和男さ んは善教寺門徒総代、 0 畑のお世話をしてくださっ 奥様の綾子さ



夏にはヒマワリが大きな花を咲かせ

てくれます



きわたる楽しい一時で ん達の声が境内にひび した いただき、子供さ







